



主催講座 1

北方領土と北海道

～道新編集委員による教養講座～

講師 北海道新聞社 編集局 編集委員 本田 良一 氏

戦後 73 年、日口間には未だ平和条約がありません。その最大の障害が北方領土問題なのです。この間日本は解決へ向けた何度かのチャンスを逃してきました。一方で北海道・とりわけ地元の根室地方は領土問題で大きな影響を受けてきました。その経過と現状を解説し、今後の展望を探ります。

第 1 回「密魚の海で」

日口間には国境線がなく、事実上中間ラインが国境線です。その周辺は白でも黒でもない「灰色の海」。その海を生活の場とする根室の漁業者は遅しく、したたかに生きてきました。その実像に迫ります。開講日時 4 月 12 日（木） 10:30～12:00

第 2 回「逃がした解決のチャンス」

1955 年から始まった日ソ平和条約締結交渉で領土問題は前進・後退の繰り返し。その中で最も解決に近づいたのはソ連崩壊後の 1992 年の春。なぜ日本はそのチャンスを掴めなかったのでしょうか。開講日時 4 月 19 日（木） 10:30～12:00

第 3 回「新しいアプローチは成功するか」

安倍首相は 2016 年 5 月以降「新しいアプローチ」を提唱、日口共同経済活動を実現しようとしています。これで領土問題は解決できるのでしょうか。その先にどのような解決策が展望できるのでしょうか。開講日時 4 月 26 日（木） 10:30～12:00

- ◆ 会場／石狩市花川北コミュニティセンター（石狩市花川北 3 条 2 丁目、TEL74-6525）
- ◆ 申込締切／平成 30 年 3 月 29 日（木）まで FAX・メールは土・日でも受付可能です。電話での申し込みは平日（月～金）の 9 時～17 時にお願いします。
- ◆ 受講料／カレッジ生 1,200 円・一般 1,500 円（全 3 回分）
- ◆ 申込み・問合せ／いしかり市民カレッジ運営委員会（石狩市公民館内）
TEL/FAX: 0133-74-2249 メール: kouminkan@city.ishikari.hokkaido.jp

※この講座は、学びのスタンプ対象講座、道民カレッジ連携講座です。

いしかり市民カレッジ

検索

